

一般社団法人日本脳神経外科学会  
2026 年度 事業計画書  
(自 2025 年 9 月 1 日～至 2026 年 8 月 31 日)

1. 学術総会・学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 項第 1 号）

- ・一般社団法人日本脳神経外科学会第 22 回社員総会を下記のとおり行う  
日時：2025 年 10 月 29 日（水）  
場所：横浜市 パシフィコ横浜  
参加予定者数：300 人（現地開催）
- ・一般社団法人日本脳神経外科学会第 84 回学術総会を下記のとおり行う  
日時：2025 年 10 月 29 日（水）～2025 年 11 月 1 日（土）  
場所：横浜市 パシフィコ横浜  
参加予定者数：6,000 人（現地参加 3,500 人・Web 参加 2,500 人）演題数：約 1,900 題
- ・一般社団法人日本脳神経外科学会支部学術総会を下記支部毎に複数回開催する  
北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州

2. 学会誌及びその他の刊行物の発行（定款第 4 条第 1 項第 2 号）

- ・学会機関誌 Neurologia medico-chirurgica（英文月刊誌・月号当り掲載論文 7～10 編）を下記のとおり発行する  
2025 年 9 月 15 日 Vol.65, No.9～2026 年 8 月 15 日 Vol.66, No.8
- ・オンラインジャーナル化したことにより紙媒体で発行する部数は、特別号（年 3 回）9,000 部（全会員へ配付）と通常号 200 部（紙媒体冊子購入希望者用）
- ・X（旧 Twitter）及び Facebook での SNS 配信

3. 脳神経外科専門医等の認定（定款第 4 条第 1 項第 6 号）

- ・脳神経外科学の進歩発達とその診療水準の向上を図り、国民の福祉に貢献することを目的とし、専門医認定制度を設置している
- ・2025 年度は下記のとおり専門医認定試験を実施。  
筆記試験：2025 年 8 月 2 日（土）  
筆記試験会場：東京国際フォーラム、大阪国際会議場（計 2 会場）  
口頭試問：2025 年 9 月 6 日（土）、7 日（日）  
口頭試験会場：パシフィコ横浜  
受験者 283 名、合格者（見込）220 名
- ・2026 年度は下記のとおり専門医認定試験を実施する予定。  
筆記試験：2026 年 8 月 8 日（土）  
筆記試験会場：大阪国際会議場  
口頭試問：2026 年 9 月 2 日（水）、3 日（木）  
口頭試験会場：大阪国際会議場  
受験者（見込）250 名、合格者（見込）200 名

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第 4 条第 1 項第 3 号）

- ・大型研究プロジェクトの助成

- ・佐野圭司賞を原則 1 名表彰する
- ・学会奨励賞 3～5 名及び特別賞 1～2 名表彰する
- ・齋藤眞基金奨励賞を下記のとおり表彰する  
国際賞、社会賞、学術賞、地域功労賞、各 1 名表彰する

5. 関係学術団体との連絡及び協力（定款第 4 条第 1 項第 4 号）

- ・国内の関連学会の活動に連携、協力するとともに、日本医学会、日本専門医機構、日本医療安全調査機構の社員、所属会員として、貢献・寄与を継続する

6. 国際的な研究協力の推進（定款第 4 条第 1 項第 5 号）

- ・世界脳神経外科学会連合（WFNS）World Federation of Neurosurgical Societies 及びアジア・オーストラレイシア脳神経外科学会（AASNS）Asia-Australasian Society of Neurological Surgeons の一員としての国際的学会活動を積極的に展開するとともに、WFNS 教育コースへの講師派遣
- ・本学会及び関連学会が主催または後援する国際学会への補助金制度の実施
- ・諸外国の脳神経外科学会との学術的交流、支援
- ・日独ジョイントセミナー開催

7. 一般への普及啓発活動（定款第 4 条第 1 項第 7 号）

- ・学術総会及び支部会時に市民公開講座を開催し、脳神経外科医療の市民啓発を積極的に展開する。

8. 脳神経外科の医療に関する調査研究事業（定款第 4 条第 1 項第 8 号）

- ・脳腫瘍全国統計調査
- ・未破裂脳動脈瘤悉皆調査
- ・脳神経外科症例オンライン登録及び調査研究事業

9. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 1 項第 9 号）

- ・脳神経外科医へのリクルート活動
- ・学術総会運営の IT 化等の推進
- ・医療安全講習会、医療倫理講習会、感染対策講習会の実施
- ・脳神経外科における適正な保険診療の推進